

文部科学大臣杯第 11 回全日本少年春季軟式野球大会日本生命トーナメント
試合方式について

趣旨：変則予選リーグ方式ならびに 16 チームによる決勝トーナメントを採用する。
予選リーグを通じて、指導者側の戦術・戦法に係る柔軟な発想や勝利至上主義から育成主義への変化を求める一方、中学年齢層における全国大会出場チームとの交流ならびに複数試合を通じてさらなる競技力向上を期待したい。

試合方式：本大会の試合方法は、予選リーグ(変則)を行い、成績の良い 16 チームによる決勝トーナメントにて優勝チームを決定する。詳細は以下の通り。

1. 方法について

- ・出場 56 チームを 14 チームずつ 4 ブロック(A～D)に分ける。
- ・予選リーグは、4 ブロック 14 チームによる変則リーグ戦を行なう。
- ・予選リーグは全チームともに、1 日 1 試合の 3 日間で 3 試合を行う。
- ・決勝トーナメントへは、各ブロックの 1 位から 4 位チームが進む。
- ・決勝トーナメントは、16 チームによるノックアウト方式により行う。
- ・決勝トーナメントへの進出基準は、獲得ポイントの多いチームを上位とする。

《ポイント》

- ・勝ち・・・・・・・・・・・・・・3 ポイント
- ・負け・・・・・・・・・・・・・・0 ポイント
- ・勝ち(タイブ레이크)・・・・2 ポイント
- ・雨天により試合が行われなかった場合は、両チームに 1 ポイントずつ与える。

《ボーナスポイント》

- ・完封勝利(継投含)・・・・・・・・・・・・・・1 ポイント
- ・得点差 7 点差以上での勝ち・・・・・・・・・・・・・・1 ポイント

※完封ならびに得点差 7 点以上で勝利した場合は、それぞれポイントが加算される。

《ポイント数が同じ場合》

- ① 直接対決で勝ったチームが上位 (対戦したチーム同士が同数ポイントの場合)
- ② 得失点差が多いチームが上位
- ③ 総得点の多いチームが上位
- ④ 失点が少ないチームが上位
- ⑤ 抽選により決定

以上

決勝トーナメントへの進出についての流れ

決勝トーナメントへ進出する 16 チームは、競技 3 日目の全試合が終了後に大会運営側で会議を行い決定します。

決勝トーナメントに進出する 16 チームが確定次第、トーナメント表にチーム名を記載し、全日本軟式野球連盟ホームページへの掲載ならびに決勝進出チームの代表者にお電話にてご報告させていただきます。

なお、決勝トーナメント進出に係る抽選が行われる場合は、代理抽選とさせていただきますので、ご承知おきくださいますようお願い致します。

以上